



古浜庄一先生を偲ぶ

衷心より、今は亡き武蔵工業大学前学長古浜庄一先生の御霊にたいしご冥福をお祈り申し上げます。

前々会長古浜庄一先生は、肝不全のため厚生年金会館病院で平成 14 年 1 月 10 日 23 時 25 分になくなりました。享年 80 歳でした。

皆さんが良くご存知の通り、古浜先生は、内燃機関式水素自動車の研究開発に 30 余年をつぎ込み、武蔵 1 号から 10 号まで 10 台の水素自動車を開発し、水素エネルギー、特に液体水素が自動車の燃料として有効であることと、将来の究極のエネルギーは、太陽エネルギーと水を原料として作った水素エネルギーであることは科学的に間違えがないと考え、水素エネルギー協会の皆様と水素エネルギーの推進と啓蒙に、お力を尽くされました。

古浜先生は、水素エネルギー協会の会長を 1987 年から 12 年間、国際活動として国際水素エネルギー学会理事を 1995 年から亡くなるまでお勤めになりました。その他、1992 年から 7 年間国際標準 ISO の水素エネルギー技術日本代表委員長として、日本の水素エネルギー推進の代表としてご尽力下さいました。

古浜先生の開発した液体水素自動車が正式に公道を走らないままでこの世を去ってしまったことは誠に残念です。古浜先生の意を継いで残った者が必ず先生のお考えが正しかったことを証明いたします。天国で見守っててください。お願いいたします。

平成 14 年 5 月 31 日
武蔵工業大学 山根 公高